

平成 29 年 5 月 18 日

各 位

公益社団法人 北海道観光振興機構
会 長 堰 八 義 博

「広域観光周遊ルートビジネスモデル形成事業」委託業務に係る事業提案の募集について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。北海道の観光事業の推進にあたりましては、日頃から格別のご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて当機構では、標記事業に係る委託業務について、下記の通り企画提案を募集いたしますので、ご案内申し上げます。

敬具

記

1. 事業名

平成 29 年度 広域観光周遊ルートビジネスモデル形成事業

2. 事業目的

広域観光周遊ルート「アジアの宝 悠久の自然美への道 ひがし北・海・道」を形成する広域観光拠点地域単位で、地域における観光消費額拡大を意識した外国人観光客滞在モデルプランや、新しいサービス等を策定することにより、道東・道北エリアにおける観光客増大を図ることを目的とする。

3. 実施期間 契約締結日～平成 30 年 3 月 10 日

4. 委託事業者向け事業説明会

日時：平成 29 年 5 月 22 日（月） 10:00～11:00

会場：公益社団法人 北海道観光振興機構 会議室

札幌市中央区北 3 条西 7 丁目 1-1 緑苑ビル 1 階

※出席を希望する場合は、別紙回答用紙に記載の上、平成 29 年 5 月 19 日（金）までに、メール、または FAX にてお申し込みください。

以上

担当：北海道観光振興機構 地域支援事業部
広域観光周遊ルート支援グループ 吉井
電話：011-231-2900 FAX：011-232-5064
E-Mail：n_yoshii@visithkd.or.jp

FAX 回答用紙

平成 29 年 5 月 19 日 (金) 締切

FAX : 011-232-5064

E-Mail : n_yoshii@visithkd.or.jp

北海道観光振興機構 地域支援事業部

広域観光周遊ルート支援グループ 吉井 宛

平成 29 年度「広域観光周遊ルートビジネスモデル形成事業」委託事業者向け事業説明会に出席します。

貴社名			
連絡先			
部署名 役職 氏名	部署名	役職	氏名

以上

広域観光周遊ルートビジネスモデル形成事業
企画提案応募要領及び企画提案指示書

公益社団法人 北海道観光振興機構

1. 事業目的

広域観光周遊ルート「アジアの宝 悠久の自然美への道 ひがし北・海・道」を形成する広域観光拠点地域単位で、地域における観光消費額拡大を意識した外国人観光客滞在モデルプランや、新しいサービス等を策定することにより、道東・道北エリアにおける観光客増大を図ることを目的とする。

2. 企画提案応募条件等

次の条件をみたす者とする。

(1) 道内に本・支店等を有する次の者であること。

ア 民間企業

イ 特定非営利活動促進法（平成10年法律第7号）に基づく非営利法人

ウ その他の法人、又は法人以外の団体等

エ 暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律77号）第2条第6号に規定する暴力団員をいう。）又は暴力団関係事業者（暴力団員が実質的に経営を支配する事業者その他同条第2号に規定する暴力団又は暴力団員と密接な関係を有する事業者をいう。）に該当しない者であること。

（コンソーシアムによる応募は不可）

3. 業務委託内容

別紙一覧表に記載している6地域が行った企画提案の内容に応じ、次の事業を実施すること。なお、事業の実施に当たっては、各地域と協議のうえ最適な実施方法を図るよう努めること。

(1) ワークショップの開催

各地域が希望する専門家（または、事業の効果的に最適な専門家）を招請し、ワークショップを開催することにより、各地域が抱える課題の解決に向けた検討作業を行うこと。

(2) 滞在プラン・サービスの検証

各地域が企画した取組について、在住外国人を対象として試行実施を行うこと。試行実施に当たっては、ワークショップに参加する専門家も可能な限り加わるよう図ったうえで実施するとともに、試行実施後は、参加外国人や専門家等も加えた意見交換会を開催し、プランの検証を行うこと。

(3) 情報発信

今年度においてプロモーション活動を希望する地域に対し、その取組を支援すること。

また、可能な範囲で各地域の取組について、外国人観光客向けの発信や、地域の機運醸成を図るための情報発信に努めること。

(4) 報告書作成

上記取組内容を取りまとめた報告書を作成すること。

(5) その他

上記以外にも、各地域が抱える課題解決のため有益な取組があれば、積極的に独自の取組について提案すること。

また、地域に対しては販売や今後のプロモーション案の提示など、今後に向けたアドバイスも積極的に行うこと。

4. 予算上限額

1事業あたりの事業費上限としては、320万円（税込み）とする。

5. 契約方法

公募型プロポーザル方式による随意契約とする。複数の地域の事業を提案した場合、個々の事業における契約ではなく、1つに集約（各事業額合計）し契約する。

6. 参加表明

企画提案を提出する意思がある場合は、期日までに参加表明すること。

(1) 表明期限：平成29年5月26日（金）17時

(2) 表 明 先：札幌市中央区北3条西7丁目1-1 緑苑ビル1階

公益社団法人 北海道観光振興機構

地域支援事業部 広域観光周遊ルート支援グループ（担当：吉井）

TEL：011-231-0941 FAX：011-232-5064

メール：n_yoshii@visithkd.or.jp

(3) 表明方法：文書でFAXまたはメールにて行うこと。

（様式は任意、メール本文でも可。文書の持参も可）

7. 企画提案書及び見積依頼内容

企画提案を行う場合は、次により必要書類を提出すること。

企画提案書作成に当たっては、企画提案事項及びその提案の考え方のほか、下記の項目について企画提案書に記載すること。

なお、1社で複数の事業に応募することは可とし、その数に上限は設けない。

(1) これまでの事業実績

会社の業務内容及び本事業類似の事業の実績について、過去3年分を記載すること。なお、観光機構事業の実績については記載を要しない。

(2) 業務実施体制

当該業務実施体制について、業務担当者をはじめとする企画提案者の体制のほか、協力会社等を明記し、具体的に記載すること。

なお、企画提案者の業務担当者名については、提出する企画提案書の1部のみに記載し、残りについては「A」、「B」などといった表現を用いて記載すること。

（複数法人による連合体（コンソーシアム）による提出不可）

(3) 業務スケジュール

委託業務開始から終了までのスケジュールを具体的に記載すること。

(4) 見積書

費用項目の明細を記載すること。

(5) 提出期限 平成 29 年 6 月 9 日（金）17 時（厳守）

(6) 提出場所 公益社団法人 北海道観光振興機構

札幌市中央区北 3 条西 7 丁目緑苑ビル 1 階

担当：地域支援事業部 広域観光周遊ルート支援グループ（担当：吉井）

(7) 提出部数 社名記載あり 1 部、社名記載なし 7 部

(8) 提出方法 持参、または郵送

8. 企画提案の審査

企画審査会にて提出書類による選考を行い、以下の項目を審査して総合的に判断する。なお、審査については地域（事業）ごとに行うものとする。

(1) 業務遂行能力

委託業務を遂行するに当たり、域内での打合せ、ワークショップなどを滞りなく遂行できる適切な実施体制が確保されており、業務遂行能力があると判断できるか。

(2) 企画提案の目的適合性

企画提案の内容が、地域が目指す姿に合致したものと判断できるか。

(3) 実効性

事業の組立てに具体性があり、かつ効果的な実施内容となっており、実効性が高いものと判断できるか。

9. 委託期間

委託契約締結の日から平成 30 年 3 月 10 日（土）までの期間

なお、委託契約締結の日は現時点で 6 月下旬を予定しているが、変動する可能性がある。

10. 業務上の留意事項

業務内容の詳細については、企画提案の内容を基本として、観光機構と受託者が協議し決定する。

11. その他

(1) 提出された企画提案書は、参加要請者の選定及びプロポーザルの特定以外には、提出者に無断で使用しない。

(2) 公正性、透明性、客観性を期すため、企画提案書は公表する場合がある。

○各地域企画提案事業 (オホーツク・釧路根室地域 ①)

別紙

事業名	オホーツク流水回廊～食回廊～花回廊 新ルート整備事業	北見市内コンテンツ整備による層雲峡～網走広域 周遊動脈ルート創出事業
申請者	網走市	北見市
拠点地域	網走	北見
区分	広域(網走・紋別・北見・遠軽・滝上・湧別)	広域(北見・上川・網走)
目標・目指す姿	知床を拠点としたオホーツクラインの網走、紋別間のルート整備、ストーリー形成	層雲峡と網走を結ぶ国道39号線上の主に北見市内のコンテンツ整備
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・冬:流水【流水回廊】 ・早春:海明けかに【食回廊】 ・春:じゅうたんのように咲く【花回廊】 ・初夏:フルーツ【美味回廊】 	<ul style="list-style-type: none"> ・北見市内のコンテンツ調査と整備 ・外国人目線による商品造成とコンテンツ整備 ・札幌の留学生によるモニタリング ・Webによる商品記事発信実験 ・次年度に向けたバージョンアップ
想定専門家	<ul style="list-style-type: none"> ①滞在モデルプラン・サービス策定に関連する専門家 篠崎達也氏(札幌国際大学) 金子由美氏(フードコーディネーター) ③収益プラン検証に関する専門家 東村有三氏(KITABA) 	<ul style="list-style-type: none"> ①滞在モデルプラン・サービス策定に関連する専門家 篠崎達也氏(札幌国際大学) 青木憲一(ライフスタイルツアーズ) ②収益プラン検証に関する専門家 東村有三氏(KITABA顧問、層雲峡まちづくりプロデューサー)
招請希望外国人	台湾(冬期)、香港(香港) FIT、二次交通活用層	台湾、香港
第1回ワークショップ	6月 冬ブランド、春・初夏商品化、食コーディネートに関するワークショップ	6月 深刻な課題の共有、外国人目線による素材の可能性、コンテンツ宿題
第2回ワークショップ	7月 商品化に向けたワークショップ	7月 北見コンテンツの徹底した整備とコーディネートについて(北見市内のみ)
第3回ワークショップ		8月 北見の各素材と層雲峡～網走、各変則ルートとの整合性ストーリー
第4回ワークショップ		12月 モニタリングとアウトプット実証を経て次年度に向けたツール作成と発信作業
外国人プラン検証	冬、早春、春、初夏に向けた該当シーズンのテーマに沿った商品造成	レンタカー利用の台湾、香港からの観光客、札幌の外国人留学生によるモニタリング(ツアー)
検証時必要経費 (各地域希望内容) ※予算内での支援となる旨、相手方には伝達済		・留学生によるモニタリング費用
プロモーション活動 (各地域希望内容) ※予算内での支援となる旨、相手方には伝達済	<ul style="list-style-type: none"> ・商品セールス(トラベルマートへの参加、台湾、香港におけるBtoCイベント出展参加、BtoBセールス) ・発信販売活動 	Webによる商品ポテンシャル記事の発信、商品の掲載による実証モニタリング
今年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期商品コンテンツ(送客)実績50名 ・冬期二次交通バスセット商品(送客)実績50名 ・早春期商品販売5アイテム以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備したコンテンツのモニタリングでの商品化 3アイテム ・Web発信における検索 1000件

○各地域企画提案事業 (オホーツク・釧路根室地域 ②)

別紙

事業名	弟子屈～根室・知床 大自然の道 終着点コンテンツ形成事業	大雪山国立公園を活用した一体型サービスの 提供事業
申請者	一般社団法人 摩周湖観光協会	旭川市
拠点地域	摩周川湯	旭川市
区分	広域(弟子屈・中標津・別海・標津・羅臼・根室)	広域(旭川・上川・東川)
目標・目指す姿	宿泊数減少が続く弟子屈を拠点とした根室管轄エリア(根室、別海、中標津、標津、羅臼)を結ぶ周遊整備	大雪山国立公園のトレッキングをメインとしながら温泉や食などを提供するプランを設定し、「移動手段」「ガイド」「ウェア等のレンタル」を一体化したサービス提供により、旭川市を含む大雪山圏地域の山岳観光のブランド化を図る
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・弟子屈から二次交通を利用した根室管内への送客を目的とした路線バスフリーパス範囲の見直し。 ・根室管内のコンテンツ整備(冬:流水、他:食) ・コンテンツ×交通のセット化と販売 ・昨年実施のモニターコースの商品化と販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・「旭岳」「黒岳」のトレッキングと温泉・食体験を組み合わせるための素材の洗い出し ・移動手段、ガイド、ウェアレンタル等のフルサービス提供の仕組みを検討 ・ワークショップ、モニターツアーによる課題の整理、サービスプランと収益性を検証
想定専門家	<ul style="list-style-type: none"> ①藤崎達也氏(札幌国際大) ②画像収集に特化した専門家 ③Web発信に特化した専門家 	<ul style="list-style-type: none"> ①滞在モデルプラン・サービス策定に関する専門家 齊藤紳氏(株式会社フォーサイト代表) ②収益プランに関する専門家 吉本剛氏(一財 旭川産業創造プラザ)
招請希望外国人	台湾、香港	アウトドアを楽しむ香港の方
第1回ワークショップ	6月 ・弟子屈からの二次交通/モニターツアーの結果を受けた商品化、夏コンテンツの整備、画像・動画収集を含む協議	7月 専門家招請希望 ・サービスプランの検討
第2回ワークショップ	7月 ・冬コンテンツの商品化に向けた造成協議	8月 ・サービスプランの確定
第3回ワークショップ	8月 ・Web発信の協議	10月 専門家招請希望 ・サービスプランの検証
外国人プラン検証	9月 コンテンツ整備状況に応じた夏期プランモニターツアー	あり
検証時必要経費 (各地域希望内容) ※予算内での支援となる旨、相手方には伝達済		<ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアー代金一部負担 775,000円(8名分) ・宣伝物作成代
プロモーション活動 (各地域希望内容) ※予算内での支援となる旨、相手方には伝達済	<ul style="list-style-type: none"> ・トラベルマート参加 ・来春に向けた情報発信費 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道観光振興機構出展の本稿旅行博での宣伝物の配布・PRを希望
今年度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年実施のモニターツアーを元に作成した商品からの送客実績 50名 ・冬期画像・動画収集 5アイテム以上 ・冬期新規商品 3商品以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・検証時の満足度 80%以上

○各地域企画提案事業 (上川・十勝地域)

別紙

事業名	冬の十勝拠点周遊と流水ゾーン ルート整備事業	山岳・丘陵地帯好き台湾人サイクリスト向け、 サイクル周遊ルート確立事業
申請者	帯広市	富良野美瑛 広域観光推進協議会
拠点地域	帯広・十勝川温泉	富良野・美瑛・占冠(トマム)
区分	広域(帯広・音更・鹿追・新得・豊頃)	広域(富良野・美瑛・上富良野・中富良野・南富良野・占冠)
目標・目指す姿	流水観光地域とのルート連携により、南ルートの入り口としての十勝地域の観光ルートの形成を目指す	海外サイクリストから見ても魅力的な山岳・丘陵地帯サイクル周遊ルートを目指す
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 流水地域とのルート化・ストーリー構築 十勝における冬コンテンツ整備整備 二次交通などによる新しいルート商品のセット化 流水地域との動脈である広域観光周遊バス南ルートとの結節商品の造成 	<ul style="list-style-type: none"> 台湾のサイクリスト招聘ツアーの実施 新たに完成するコースを360°カメラで撮影しWeb配信・プロモーションに利用 9月のサイクリングイベントで手ぶら参加できる環境を提供。台湾人に告知
想定専門家	<ul style="list-style-type: none"> ①滞在モデルプラン・サービス策定に関連する専門家 藤崎達也氏(札幌国際大学准教授) ②収益プラン検証に関連する専門家 東村有三(KITABA顧問) 	<ul style="list-style-type: none"> ①道内在住で台湾受入業務に精通し、サイクリストでもある台湾人実務者 黄 奎達氏(札幌市)を予定 ②招請したい外国人 何 麗卿氏(台湾自転車愛好家団体幹部) Swift Wang氏(サイクリスト交流サイト 日本単車旅遊運営者)
招請希望外国人	台湾、香港	山岳・丘陵地帯好き台湾人サイクリスト
第1回ワークショップ	6月 冬期コンテンツ整備と二次、三次交通を組み合わせた商品化の検討	6月 専門家招請希望 ・サイクル周遊ルートの仮設定、招聘ツアー、モニタリング内容を検討
第2回ワークショップ	7月 流水地域との連携商品の造成など	11月 専門家招請希望 招聘、アンケート、モニタリング、プロモーションに関わった関係者で周遊ルートの確定と事業検証を実施
第3回ワークショップ		
第4回ワークショップ		
外国人プラン検証		
検証時必要経費 (各地域希望内容) ※予算内での支援となる旨、相手方には伝達済		<ul style="list-style-type: none"> ・自転車用多目的空気入れ20台 ・360度カメラ2台
プロモーション活動 (各地域希望内容) ※予算内での支援となる旨、相手方には伝達済	<ul style="list-style-type: none"> ・トラベルマート参加 ・台湾や香港等におけるBtoCイベント出展参加とあわせたBtoBセールス 	台湾KOMチャレンジ(10月開催の自転車レース)でのPR活動 出展料、旅費、繁体字チラシ2,000部
今年度目標	外国人プラン検証時の満足度 80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート収集枚数 100枚 ・モニタリング参加者 5名 ・ワークショップ参加者 40名(2回合計)